

CENTER FOR TOURISM RESEARCH

2022年度
年次報告書



和歌山大学

国際観光学研究センター

Contents

1.	国際観光学研究センター(CTR)について	2
1.1.	ミッション.....	2
1.2.	ビジョン.....	2
1.3.	研究推進におけるキーワード.....	2
1.4.	目標.....	2
1.5.	Tourism & SDGs.....	2
1.6.	組織体制.....	3
1.6.1.	組織図.....	3
1.6.2.	運営機関.....	3
1.6.3.	CTR研究員.....	4
1.6.4.	CTR研究ユニット.....	11
1.7.	活動内容.....	12
1.7.1.	研究活動.....	12
1.7.2.	研究・教育サポート.....	12
1.7.3.	広報、アウトリーチ、アドボカシー.....	12
2.	活動報告	13
2.1.	研究活動.....	13
2.1.1.	主な研究プロジェクト.....	13
2.1.2.	出版.....	15
2.1.3.	短期研究員招へい制度.....	21
2.1.4.	「CTR International Symposium Series 2022-2023」実施.....	22
2.2.	研究・教育サポート.....	23
2.2.1.	研究力養成支援.....	23
2.2.2.	研究員主体のセミナー等イベント開催支援.....	24
2.2.3.	観光学部授業科目の開講支援.....	25
2.3.	広報、アウトリーチ、アドボカシー.....	25
2.3.1.	学会スポンサー参加.....	25
2.3.2.	外部機関との連携促進.....	26
2.3.3.	メディア出演.....	26
2.3.4.	イベント開催協力.....	27
2.3.5.	学会、イベント参加.....	27
2.3.6.	運営・企画イベント一覧.....	28

1. 国際観光学研究センター(CTR)について

1.1. ミッション

観光学研究の高度化を通じて、健全で持続可能な社会の発展に寄与する。

1.2. ビジョン

倫理と責任ある観光発展に重きを置く、アジア太平洋地域を牽引する研究機関を確立する。

1.3. 研究推進におけるキーワード

- Ethics and Responsibility
- Diversity and Equity
- Community and Environment

1.4. 目標

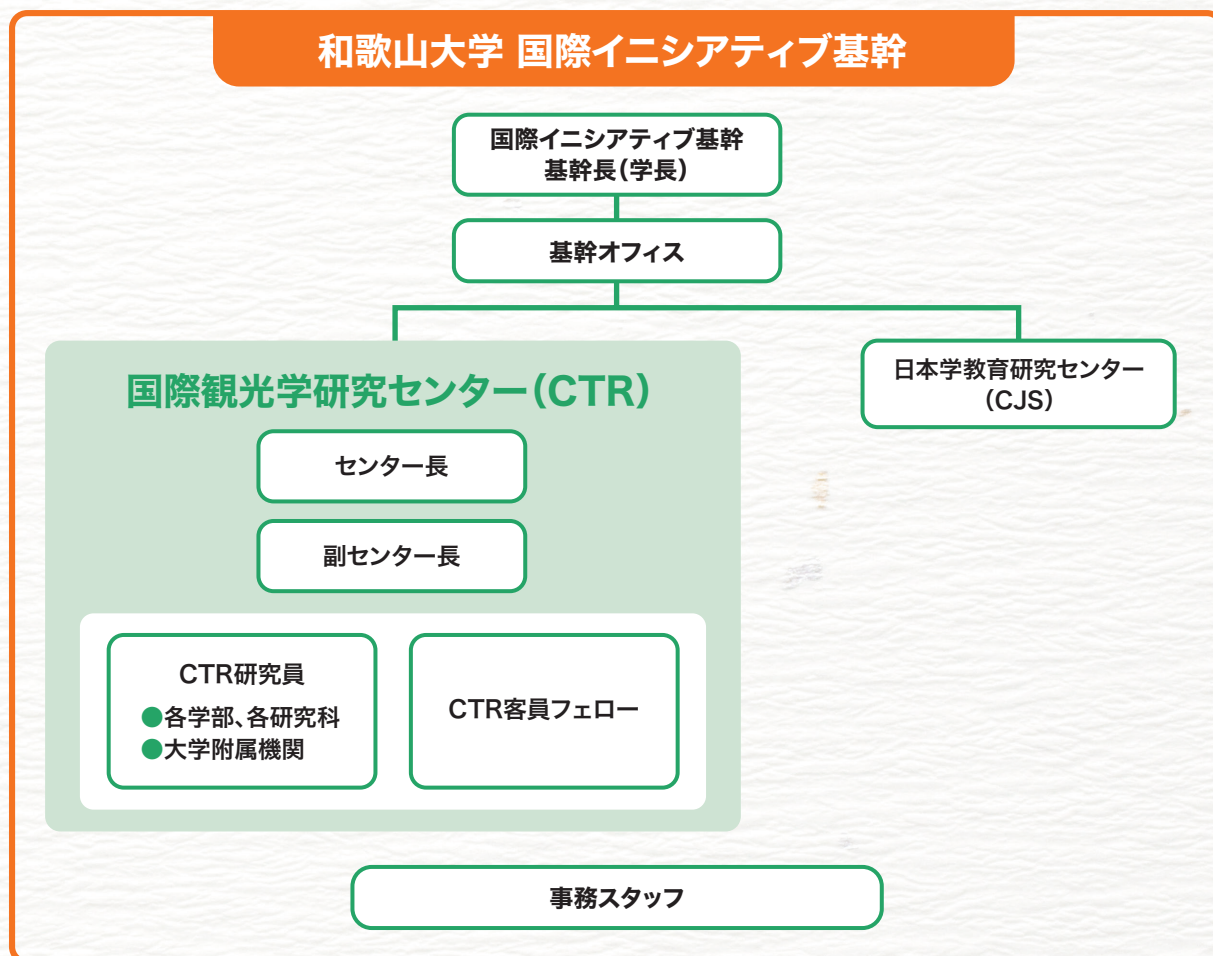
- 国内外の観光におけるステークホルダーとの連携強化
- サステナビリティを支援する研究活動を通じた、倫理的かつ責任ある観光活動の促進
- 学内外における活発な研究文化の醸成
- 観光教育の支援
- 大学内のグローバル化に貢献

1.5. Tourism & SDGs

国連の掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に観光を通じて貢献していく。

1.6. 組織体制

1.6.1. 組織図



2023年3月現在

1.6.2. 運営機関

国際イニシアティブ基幹 推進会議	全学のグローバル化推進を踏まえた戦略・企画の立案・管理。
CTR 運営委員会	日常的な意思決定及び、事業計画管理・評価。
CTR ワーキンググループ	事業企画の立案、設計。

1.6.3. CTR研究員

CTR研究員 (計38名)	和歌山大学客員教授	4名
	CTR専任研究員	2名
	CTR併任研究員	観光学部21名、学内他学部等11名
CTR客員フェロー (計91名)	CTR名誉フェロー	2名
	CTR客員フェロー	80名
	CTR客員ジュニアフェロー	9名

研究員一覧

1.6.3.1 CTR研究員

2023年3月現在

<和歌山大学客員教授>

CHEER, Joseph M.	和歌山大学 客員教授、Professor, Western Sydney University (Australia) (元・国際観光学研究センター 特任教授)
MILLER, Graham	和歌山大学 客員教授、Professor, University of Surrey (UK)
RITCHIE, Brent W.	和歌山大学 客員教授、Professor, The University of Queensland (Australia)
SHARPLEY, Richard	和歌山大学 客員教授、Professor, University of Central Lancashire (UK)

<CTR専任研究員>

PROGANÓ, Ricardo Nicolás	国際観光学研究センター 特任講師
ZAINAL ABIDIN, Husna	国際観光学研究センター 特任講師

＜CTR併任研究員＞

CHAKRABORTY, Abhik	観光学部 准教授
DOERING, Adam	観光学部 准教授
秋山 演亮	クロスカル教育機構（教養・協働教育部門） 教授
足立 基浩	経済学部 教授
井伊 博行	システム工学部 教授
上野 美咲	経済学部 講師
大浦 由美	観光学部 教授
尾久土 正己	観光学部 教授
加藤 久美	観光学部 教授
木川 剛志	観光学部 教授
岸上 光克	食農総合研究教育センター 教授
北村 元成	観光学部 教授
佐々木 壮太郎	観光学部 教授
佐藤 祐介	クロスカル教育機構（教養・協同教育部門） 講師
佐野 楓	観光学部 准教授
澤田 知樹	観光学部 准教授
柴本 百合香	観光学部 特任助教
竹田 明弘	観光学部 准教授
竹林 明	観光学部 教授
竹林 浩志	観光学部 准教授
辻本 勝久	経済学部 教授
出口 竜也	観光学部 教授
富田 晃彦	教育学研究科 教授
永井 隼人	観光学部 准教授
永瀬 節治	観光学部 准教授
中元 一恵	国際交流課 課長
東 悦子	観光学部 教授
彦次 佳	教育学部 准教授
堀田 祐三子	観光学部 教授
八島 雄士	観光学部 教授
吉田 道代	観光学部 教授
吉野 孝	システム工学部 教授

1.6.3.2 CTR客員フェロー

敬称略(2023年3月現在)

<CTR名誉フェロー>

CTR名誉フェローは、観光学の発展・確立に向けた包括性・普遍性の高い研究課題を有し、その裏付けとなる優れた研究実績を有する研究員をいう。

大橋 昭一	和歌山大学 名誉教授
山田 良治	和歌山大学 名誉教授

<CTR客員フェロー>

CTR 客員フェローは、国内外の大学教員または一定の研究経験を有するものとし、CTR 研究員との共同研究を行うもの、CTR での研究プロジェクトへ参加するものとする。

ADAMS, Kathleen M.	Professor, Department of Anthropology, Loyola University Chicago (USA)
ADIE, Bailey Ashton	Independent Scholar
ALIPERTI, Giuseppe	Assistant Professor, Tourism Department, University of Deusto (Spain)
APOLLO, Michal	Assistant Professor, Institute of Earth Sciences, University of Silesia in Katowice (Poland)
BLAZQUEZ, Macia	Professor, University of the Balearic Islands (Spain)
CHIEN, Pi-Hsuan Monica	Senior Lecturer, UQ Business School, The University of Queensland (Australia)
COLE, Stroma	Senior Lecturer, University of Westminster (UK)
CROSSLEY, Émilie	JSPS Postdoctoral Fellow, Hokkaido University (Japan)
DOLEZAL, Claudia	Professor, IMC University of Applied Sciences, Krems (Austria)
DRUMMOND, Damon	Graduate Researcher, Flinders University (Australia) / Adjunct Lecturer, Keio University (Japan)
HARDY, Anne	Associate Professor, University of Tasmania (Australia)
HAYWARD, Philip	Adjunct Professor, University of Technology Sydney (Australia)
IOANNIDES, Dimitri	Chaired Professor of Human Geography & Head of Discipline, Department of Economics, Geography, Law & Tourism Studies, Mid-Sweden University (Sweden)

KAUSAR, Devi	Dean, Faculty of Tourism, Pancasila University (Indonesia)
LAPORTE, Dominic	Professor, Université du Québec à Montréal (Canada)
LIN, Joseph Si-Shyun	Associate Professor, Department of Restaurant, Hotel and Institutional Management, Fu Jen Catholic University (Taiwan)
MULDOON, Meghan L.	Assistant Professor, University of Groningen, Campus Fryslân, Leeuwarden (The Netherlands)
ONG, Faith	Lecturer, School of Business, The University of Queensland (Australia)
PRATT, Stephen	Professor, Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida (USA)
QU, Meng	Assistant Professor, Hiroshima University (Japan)
SCHÄNZEL, Heike A.	Associate Professor, Hospitality & Tourism, Auckland University of Technology (NewZealand)
SHARMA, Nitasha	Lecturer, Faculty of Spatial Sciences, University of Groningen (The Netherlands)
SIN, Harngh Luh	Senior Lecturer, Business School, James Cook University Singapore Campus (Singapore)
THAM, Aaron	Lecturer in Tourism, Leisure and Events Management, University of the Sunshine Coast (Australia)
TING, Hiram	Associate Professor, UCSI University (Malaysia)
TOLKACH, Denis	Senior Lecturer, James Cook University (Australia)
VOLGGER, Michael	Director, Tourism Research Cluster, Curtin University (Australia)
VOROBOVAS-PINTA, Oscar	Lecturer, School of Business and Law, Edith Cowan University (Australia)
YANG, Elaine Chiao Ling	Lecturer, Department of tourism, sport and hotel management, Griffith Business School, Griffith University (Australia)
YOUNG, Tamara	Associate Professor, College of Human and Social Futures, The University of Newcastle (Australia)
WENGEL, Yana	Associate Professor, Hainan University - Arizona State University International Tourism College (China)
石川 肇	京都日本文化資源研究所 所長
伊藤 央二	中京大学 スポーツ科学部 准教授
今井 裕子	コムサポートオフィス 代表
上原 史子	岩手県立大学 講師

内ヶ島 友章	村松将太法律事務所事務局
遠藤 理一	西武文理大学 サービス経営学部 専任講師
大井 達夫	立正大学 データサイエンス学部 教授
大野 一	国土交通省 観光庁 旅行振興参事官付
岡田 美奈子	一般社団法人地域観光研究所 主任研究員
小川 勝久	大阪芸術大学 写真学科 客員教授
小野 綾子	女子美術大学 助手（助教）
小原 満春	沖縄県立那覇商業高等学校
柏木 翔	神奈川大学 国際日本学部国際文化交流学科 助教
鎌田 裕美	一橋大学 経営管理研究科 准教授
唐崎 翔太	島旅農園「ほとり」経営
神野 直之	一般社団法人大和ブランド推進協議会 代表理事理事長
神田 孝治	立命館大学 文学部 教授
金 宰煜	広島大学大学院 人間社会科学研究科 講師
権 純珍	倉敷芸術科学大学 危機管理学部 教授
黒田 有彩	株式会社アンタレス 代表取締役
間中 光	追手門学院大学 地域創造学部 講師
小柴 恵一	株式会社 G1company 代表取締役
齋藤 望	富山福祉短期大学 国際観光学科 教授
齊藤 広晃	立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 准教授
坂西 明子	立命館大学 政策科学部 教授
笹森 琴絵	海洋生物調査員、酪農学園大学非常勤講師、自然写真家

佐野 宏樹	立命館大学 経営学部 准教授
淑瑠 ラフマン	金沢大学 先端科学・地域共創推進機構 特任助教
杉山 幹夫	株式会社サン広告社 シニアプロデューサー
宋 謙	和歌山大学 経済学部 教育研究支援員
蘇 哲仁	Distinguished Research Professor, Department of Restaurant, Hotel and Institutional Management, Fu Jen Catholic University (Taiwan)
田中 光敏	大阪芸術大学 映像学科 教授、映画監督、CMディレクター、クリエイターズユニオン 代表取締役
曹 禎敏	ユタカ交通株式会社
陳 意玲	国立屏東大学 休閒事業経営学系 助理教授 (台湾)
永田 修一	関西学院大学 商学部 准教授
長野 史尚	九州医療スポーツ専門学校 教育職員
中村 仁	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 准教授
藤原 久嗣	広島経済大学 准教授
堀込 孝二	大阪国際大学 人間科学部 スポーツ行動学科 講師、特定非営利活動法人スポーツファンデーション 代表理事
牧野 恵美	広島大学 産学・地域連携推進部 アントレプレナー教育部門長、准教授
牧野 光朗	愛知学院大学 社会連携センター 特任教授
宮口 直人	株式会社ビズユナイテッド 代表取締役
森 清顕	清水寺 執事補
森越 京子	北星学園大学短期大学部 教授
築田 香織	無所属
山本 訓弘	株式会社 MydoMind 代表取締役

山本 道雄	関西テレビ放送株式会社 主任
吉田 潔	M&R 地域マーケティング研究所 代表取締役
李 只香	九州共立大学 経済学部 教授

<CTR客員ジュニアフェロー>

CTR 客員ジュニアフェローは、原則として、国内外の大学院修士課程及び博士課程在籍中の学生もしくは、修士課程修了後、CTR 研究員との共同研究やCTR での研究プロジェクトへ参加するものとする。修士課程及び博士課程在籍中の学生については、在籍大学の指導教員の許可を受ける必要がある。なお、当該研究により単位を付与することはない。

NGOC, Le Bao	和歌山大学大学院観光学研究科 博士前期課程修了
SCHMIDT, Januschka B. I.	PhD Candidate, University of Groningen (The Netherlands)
SHEPHERD, Jack	PhD Candidate, Mid Sweden University (Sweden)
明山 文代	和歌山大学大学院観光学研究科 博士後期課程
澤田 幸輝	和歌山大学大学院観光学研究科 博士前期課程
孫 昊	和歌山大学大学院観光学研究科 博士前期課程
中谷 勤	奈良県立奈良商工高等学校 教諭
平井 千恵	一般社団法人市駅グリーンプロジェクト 理事
山岸 大二郎	和歌山大学大学院観光学研究科 博士前期課程

1.6.4 CTR研究ユニット

CTRでは3つの研究ユニットを組織しており、共同研究や研究会等の活動は「経営 / Management」「地域 / Community」「文化・遺産 / Culture & Heritage」の各ユニットを軸に行っている。なお、CTR研究員(客員フェローを除く)はいずれかのユニットに所属し、研究プロジェクトは複数のユニットにまたがることもある。



経営 | Managementユニット

概要	観光・ホスピタリティ産業及び観光地の経営戦略、マーケティング、リスクマネジメント、イノベーションを主な研究分野とする。研究活動を通じて政策立案及び戦略の策定に貢献し、観光地及び観光・ホスピタリティ産業の持続可能な競争優位の構築を目指す。
メンバー	Giuseppe Aliperti, Pi-Hsuan Monica Chien, Brent W. Ritchie, Lin Joseph Si-Shyun, Aaron Tham, Husna Zainal Abidin, 足立 基浩、伊藤 央二、上野 美咲、上原 史子、柏木 翔、鎌田 裕美、神野 直之、金 宰煜、権 純珍、間中 光、齊藤 広晃、佐々木 壮太郎、佐野 楓、杉山 幹夫、蘇 哲仁、孫 昊、竹田 明弘、竹林 明、竹林 浩志、陳 意玲、辻本 勝久、出口 竜也、永井 隼人、長野 史尚、中村 仁、堀込 孝二、牧野 恵美、宮口 直人、森越 京子、八島 雄士、山岸 大二郎、山本 訓弘、吉田 潔、李 只香

地域 | Communityユニット

概要	地域貢献型地方国立大学である和歌山大学にとって、地域社会は切り離せない観光研究の場である。地域社会や地域経済との関わりという観点から観光現象を把握し、「まちづくり」や「地域活性化」といったアプローチで観光開発に関する調査・研究を行う。
メンバー	Michal Apollo, Macia Blanzquez, Abhik Chakraborty, Joseph M. Cheer, Adam Doering, Philip Hayward, Devi Kausar, Graham Miller, Meng Qu, Hiram Ting, Denis Tolkach, Michael Volgger, 秋山 演亮、井伊 博行、石川 肇、大浦 由美、小川 勝久、尾久 土 正己、小野 綾子、岸上 光克、黒田 有彩、小柴 恵一、齋藤 望、佐藤 祐介、澤田 知樹、永瀬 節治、中元 一恵、堀田 祐三子、牧野 光朗、吉野 孝

文化・遺産 | Culture & Heritageユニット

概要	観光現象を文化論的な観点から探求していく他、文化遺産のマネジメントや保全及び開発に関する広い課題について、クリエイティブツーリズムなどの新しいアプローチも取り入れる。歴史的地域、建造環境や都市、農村や農業景観、自然環境、特徴ある文化が存続する地域及び無形遺産の保全や再生なども課題とする。
メンバー	Nicolás Ricardo Proganò, Richard Sharpley, 加藤 久美、神田 孝治、木川 剛志、北村 元成、柴本 百合香、田中 光敏、富田 晃彦、東 悦子、彦次 佳、森 清顕、吉田 道代

1.7. 活動内容

1.7.1. 研究活動

●研究プロジェクト

- ◆科学研究費助成事業採択研究課題
- ◆CTR 研究員向け研究支援プロジェクト

●出版

- ◆論文集「Wakayama Tourism Review」出版
- ◆CTR 国際カンファレンス報告書
- ◆CTR 研究員出版業績

●短期研究員招へい制度

●「CTR International Symposium Series 2022-2023」実施

1.7.2. 研究・教育サポート

●研究プロジェクト助成

- ◆CTR 研究員向け研究支援プロジェクト

●研究力養成支援

●研究環境整備

- ◆主要図書（電子ジャーナル含む）整備
- ◆研究成果公開促進インセンティブ制度
- ◆研究関連情報提供

●セミナー等イベント開催支援

●観光学部授業科目の開講支援

1.7.3. 広報、アウトリーチ、アドボカシー

●外部機関との連携促進

●メディア出演

●学会・イベント開催協力

●学会・イベント参加(研究発表、招待講演、モデレーター、オブザーバー等)

●セミナー等の企画運営

2. 活動報告

2.1. 研究活動

2.1.1. 主な研究プロジェクト

2.1.1.1. 科学研究費助成事業採択研究課題

文部科学省及び日本学術振興会が交付する科学研究費助成事業に採択され、CTR 研究員が代表者として取り組む研究プロジェクトは以下の通り（掲載希望課題のみ）。

研究種別	代表者	研究課題	研究分野
基盤研究B	Richard Sharpley	Confronting difficult past: Dark Tourism development in Japan:	観光学
基盤研究C	Abhik Chakraborty	ポスト・パンデミック時代における持続可能な山岳観光の分析	観光学
	Adam Doering	Life, leisure and tourism in the wake of disaster: Investigating the role of surf tourism for post-tsunami coastal recovery	観光学
	Joseph M. Cheer	Post-Pandemic Rural Revitalization: Culture and Tourism for Recovery, Resilience and Regeneration	観光学
	足立 基浩	空間計量経済学を用いたコロナ期の観光需要に関する研究	観光学
	大浦 由美	企業の CSR 活動等を契機とした新たな地域観光の創出：「企業の森」事業に着目して	観光学
	尾久土 正己	わが国の天文観光の大衆化と夜空の美しさの内部化状況—工学的手法を取り入れた分析	観光学
	齊藤 広晃 (客員フェロー)	The role of staff breakrooms in employee's psychophysiological recovery, well-being, and performance	経営学
	佐野 楓	ビッグデータの活用によるスマートツーリズム・DESTINATIONの構築と価値共創	観光学
	竹田 明弘	新人看護師におけるバーンアウトの影響要因とその改善要因の開発	経営学
	富田 晃彦	天文を得意としない教師の授業運営改善とその国際的応用性の研究	科学教育
	堀田 祐三子	観光の社会的意義を問う—労働の変化と余暇・観光の階層性からのアプローチ	観光学
	吉田 道代	沖縄の若年労働市場におけるインバウンド観光の影響	人文地理学

研究種別	代表者	研究課題	研究分野
若手研究	永井 隼人	Attitudes of non-host city residents toward a mega-event during the pre-event stage: A longitudinal study	観光学
国際共同研究強化 (B)	加藤 久美	Enhancing Social-Ecological Resilience through Sustainable Tourism Governance in post-corona era:Traditional value-based approach for Community Vision,Capacity and Leadership.	社会学 およびその 関連分野
	齊藤 広晃 (客員フェロー)	Inducing pro-environmental behavior in tourists for the sustainable development of Japan's tourism and hospitality industries	社会学 およびその 関連分野

2.1.1.2. CTR助成研究プロジェクト

CTR研究支援プログラムとは、CTRミッション「観光学研究の高度化を通じて健全で持続可能な社会の発展に寄与する」を踏まえ、下記の優先目標を考慮した研究プロジェクトを推進し、観光学研究の高度化・国際化を図ることを目的に、研究費助成を行う。CTR内部の競争的資金の位置づけで、CTRミッションと下記のキーワードいずれか及び、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に貢献する内容であることを求める。

●優先目標

- ①日本、アジア太平洋地域における観光学研究の牽引
- ②国内外の主要な観光学研究機関との連携強化

●研究推進にあたるキーワード

- ① Ethics and Resonsibility
- ② Diversity and Equity
- ③ Community and Environment

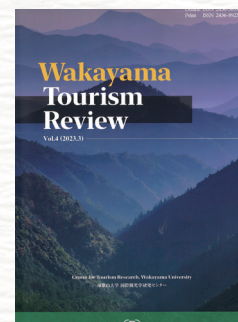
2022年度は新規募集をせず、過年度よりの継続課題は以下の通り。概要と活動報告は、CTRウェブサイト (<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/projects/ctrsupport/2022/index.html>) に掲載

代表者	研究課題
木川 剛志	持続可能なデスティネーション・マネジメントとエコシステムを構成する観光映像の研究

2.1.2. 出版

2.1.2.1. 「Wakayama Tourism Review Vol.4」発刊

Wakayama Tourism Review (WTR) は、CTR 研究員およびCTR 客員フェローらによる研究論文や調査レポート等を収録したCTR 発行の全英文のジャーナルである。年1回の発行で、今年度は計11本が収録された。オンライン版を一般公開しており、CTR ウェブサイトから閲覧可能。
<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/publications/WTR.html>



2.1.2.2. CTR国際カンファレンス報告書発行

2022年3月8日(火)と9日(水)に開催したCTR主催の国際カンファレンス「International Tourism Research Salon – Transforming Tourism Research: Reshape, Rethink, Renew, Regenerate, Restart –」の報告として、4つの基調講演を基にした論文および書き起こしの集録集を発行した。和歌山大学学術リポジトリにて閲覧可能。


<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/publications/ctrpublication.html>



2.1.2.3. CTR研究員の主な出版業績一覧

研究ユニットごとのCTR研究員の主な出版業績は以下の通り。なお、現学内研究員の業績詳細は、本学ウェブサイト内、研究者総覧ページ(<https://researchers.center.wakayama-u.ac.jp/search?m=home&l=ja>)参照。

経営ユニット<研究論文>

出版年月	タイトル []内はジャーナル名 ※は Scopus 収録ジャーナル、()内は Scopus CiteScore 2021
	著者 *は CTR 研究員
2023年2月	An evidence-base for reducing the CO2 emissions of national mega sports events: Application of the three-hub model to the Japan 2019 Rugby World Cup [Journal of Sustainable Tourism] ※ (13.8)
	Eiji Ito*, School of Health and Sport Sciences, Chukyo University, Toyota, Japan; Center for Tourism Research, Wakayama University, Wakayama, Japan James Higham, Department of Tourism, Otago Business School, University of Otago, Dunedin, New Zealand

出版年月	タイトル []内はジャーナル名 ※は Scopus 収録ジャーナル、()内は Scopus CiteScore 2021 著者 *は CTR 研究員
2022年12月 	The antecedents of digital collaboration through an enhanced digital platform for destination management: A micro-DMO perspective [Tourism Management] ※ (19.8) Husna Zainal-Abidin*, Center for Tourism Research, Wakayama University Caroline Scarles, School of Hospitality and Tourism Management, University of Surrey Christine Lundberg, The Norwegian School of Hotel Management, University of Stavanger
2022年10月 	(Chapter 8) Baseball heritage in Japan: A case of the Masters Koshien [Baseball and Cultural Heritage, University Press of Florida] Eiji Ito*, Chukyo University, Japan Kei Hikoji*, Wakayama University, Japan Makoto Chogahara, Kobe University, Japan
2022年9月 	(基礎編Ⅰ. スポーツツーリズム概論) 3 スポーツツーリストの消費行動 / 4 地域資源を活用したスポーツツーリズム [実践 スポーツツーリズム 組織運営・事業開発・人材育成, 学芸出版社] 伊藤 央二* (中京大学 スポーツ科学部)

出版年月	タイトル []内はジャーナル名 ※は Scopus 収録ジャーナル、()内は Scopus CiteScore 2021
	著者 *は CTR 研究員
2022年8月	Understanding how sports relate to hedonic and eudaimonic well-being among Japanese university students [International Journal of the Sociology of Leisure]
	Shintaro Kono, Faculty of Kinesiology, Sport, and Recreation, University of Alberta, Edmonton, Canada Eiji Ito*, School of Health and Sport Sciences, Chukyo University, Toyota, Japan Isao Okayasu, Department of Sport Business Administration, Faculty of Business Administration, Hiroshima University of Economics, Hiroshima, Japan Jingjing Gui, Department of Psychology, Faculty of Arts, University of Alberta, Edmonton, Canada
2022年7月	Spatial distribution of accommodation supply in Osaka city - A policy perspective [Journal of Responsible Tourism Management]
	Kaede Sano*, Faculty of Tourism, Wakayama University, Japan; Center for Tourism Research, Wakayama University, Japan Shuichi Nagata*, School of Business Administration, Kwansai Gakuin University, Japan; Center for Tourism Research, Wakayama University, Japan Hiroki Sano*, Faculty of Business Administration, Ritsumeikan University, Japan; Center for Tourism Research, Wakayama University, Japan

出版年月	タイトル []内はジャーナル名 ※は Scopus 収録ジャーナル、()内は Scopus CiteScore 2021
	著者 *は CTR 研究員
2022年7月 	<p>Leisure's relationships with hedonic and eudaimonic well-being in daily life: An experience sampling approach [Leisure Sciences] ※ (4.1)</p> <p>Shintaro Kono, Faculty of Kinesiology, Sport, and Recreation, University of Alberta, Edmonton, Canada Eiji Ito*, School of Health and Sport Sciences, Chukyo University, Toyota, Japan Jingjing Gui, Department of Psychology, University of Alberta, Edmonton, Canada</p>
2022年6月 	<p>Carbon emission reduction and the Tokyo 2020 Olympics [Annals of Tourism Research Empirical Insights] ※ (1.1)</p> <p>Eiji Ito*, School of Health and Sport Sciences, Chukyo University; Center for Tourism Research, Wakayama University James Higham, Department of Tourism, Otago Business School, University of Otago Joseph M. Cheer*, Center for Tourism Research, Wakayama University</p>
2022年5月	<p>Using Instagram Hashtags to Recruit Asian Youth Travellers [e-Review of Tourism Research] ※ (0.9)</p> <p>Eiji Ito*, School of Health and Sport Sciences, Chukyo University; Center for Tourism Research, Wakayama University James Higham, Department of Tourism, Otago Business School, University of Otago Joseph M. Cheer*, Center for Tourism Research, Wakayama University</p>

地域ユニット<著書>

出版年月	タイトル □内は出版社名
	著者 / 編者 *は CTR 研究員
2022年9月	Handbook of Niche Tourism [Edward Elgar Publishing]
	<p>Marina Novelli, Professor of Tourism and International Development, School of Business and Law, University of Brighton, UK</p> <p>Joseph M. Cheer*, Professor, Center for Tourism Research, Wakayama University, Japan</p> <p>Claudia Dolezal*, Senior Lecturer and Researcher in Tourism, IMC University of Applied Sciences, Austria</p> <p>Adam Jones, Principal Lecturer of Strategy and Enterprise, School of Business and Law, University of Brighton, UK</p> <p>Claudio Milano, Adjunct Professor, Department of Social and Cultural Anthropology, Autonomous University of Barcelona, Spain</p>
	<p>Recentering tourism geographies in the 'Asian century' [Routledge]</p>
2022年4月	Recentering tourism geographies in the 'Asian century' [Routledge]
	<p>Harnq Luh Sin*, Former Associate Professor, Sun Yat-Sen University, China / Visiting Fellow, Singapore Management University, Singapore / Visiting Fellow, Center for Tourism Research, Wakayama University, Wakayama, Japan</p> <p>Mary Mostafanezhad, Associate Professor, Department of Geography and Environment, the University of Hawai'i at Mānoa, USA / Visiting Fellow, Center for Tourism Research, Wakayama University, Wakayama, Japan</p> <p>Joseph M. Cheer*, Professor, Center for Tourism Research, Wakayama University, Japan / Adjunct appointments at AUT, New Zealand, UCSI University, Malaysia, and Monash University, Australia</p>

地域ユニット<研究論文>

出版年月	タイトル []内はジャーナル名 ※は Scopus 収録ジャーナル、()内は Scopus CiteScore 2021 著者 *は CTR 研究員
2022年9月 	International cross-cultural perspectives on the participants' motivations in the Jogja Marathon [Journal of Tourism and Development] ※ (0.7) Elysa Asri Septiana, Ms, Universitas Pancasila Devi Roza Kausar*, Dr, Universitas Pancasila Yuwana Marjuka, Prof, Universitas Pancasila Norliza Aminudin, Dr, Universiti Teknologi MARA
2022年9月 	Cultural ecosystem services and placemaking in peripheral areas: A tourism geographies agenda [Tourism Geographies] ※ (14.3) Joseph M. Cheer*, Center for Tourism Research, Wakayama University, Japan Mary Mostafanezhad, Department of Geography and Environment, University of Hawai'i at Mānoa, USA Alan A. Lew, Emeritus, Department of Geography, Planning and Recreation, Northern Arizona University, USA
2022年9月 	Tourism and partnerships for the SDGs [Journal of Sustainable Tourism] ※ (13.8) Regina Scheyvens, Institute of Development Studies, Massey University, Palmerston North, New Zealand Joseph M. Cheer*, Center for Tourism Research, Wakayama University, Wakayama, Japan
2022年8月 	Humanising research: A citizen social science agenda [Annals of Tourism Research] ※ (10.2) Anne Hardy*, School of Social Sciences, University of Tasmania Tamara Young*, Newcastle Business School, College of Human and Social Futures, The University of Newcastle Joseph Cheer*, Center for Tourism Research, Wakayama University Regina Scheyvens, School of People, Environment and Planning, Massey University Apisalome Movono, School of People, Environment and Planning, Massey University

文化・遺産ユニット<研究論文>

出版年月	タイトル []内はジャーナル名 ※は Scopus 収録ジャーナル、()内は Scopus CiteScore 2021
	著者 *は CTR 研究員
2022年12月	Roles of religious guides in tourism: A qualitative study from Japan [International Journal of Religious Tourism and Pilgrimage] ※ (1.3)
	Ricardo Nicolas Prozano*, Center for Tourism Research, Wakayama University

2.1.3. 短期研究員招へい制度

短期研究員招へい制度は、本学研究者との共同論文執筆、共同研究、外部資金獲得などの可能性の高い研究者を最大2週間程度招へいし、CTRを拠点としてさまざまな研究交流を通じて観光学研究の活性化、高度化を図ることを目的としている。CTR研究員の推薦に基づき、2020年度に来日予定だったがコロナ禍の影響により延期となっていた2名を、2022年度に招へいし、受け入れを行った。

●Dr. Michael Volgger (Curtin University, Australia)

11月13日(日)から22日(火)に渡って来学、豪日交流基金助成金プロジェクトメンバーとともにフィールドワークを実施した。同プロジェクトによるシンポジウムにも登壇し、Volgger氏は「Perspectives on Indigenous tourism development in rural and remote areas: The case of the Fitzroy Valley, Australia」というタイトルで研究発表を行った。



●Dr. Seul Ki Lee (Sejong University, Korea)

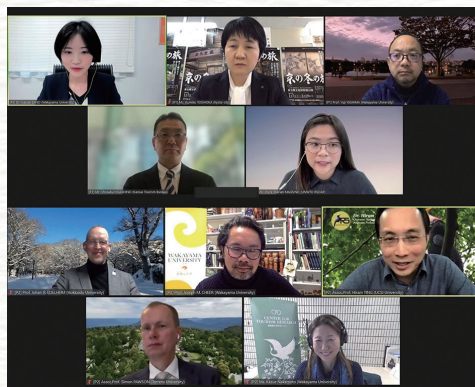
1月16日(月)から28日(土)に渡って来学し、セミナー「Applied spatial econometrics in tourism and hospitality research」を開催した。観光産業における空間計量経済学的手法を適用した自身の研究における事例を紹介し、今後の研究への応用の可能性について議論した。その他、本学学生への研究助言や観光学部国際連携に関する意見交換、また本学研究者との共同研究や論文執筆の打ち合わせも行われ、本招へいを通じて取り組みが進んでいる。



2.1.4. 「CTR International Symposium Series 2022-2023」実施

CTRが2本柱として掲げる「Destination Management」「Tourism Education」をテーマに、高等教育機関や産業界の有識者をお招きし様々な角度から議論することを目的とした国際シンポジウムシリーズの第1回を、1月17日(火)にオンラインにて開催した。今回シンポジウムでは「The Future of Tourism Education and Destination Management」をテーマとし、2部構成で実施した。

第1部では、「ディスネーション・マネジメントの未来」と題し、京都市産業観光局観光MICE推進室の吉岡 久美子観光戦略課長より、「京都観光振興計画2025」等の事例とともに観光と地域社会、それぞれの課題を解決しながら持続可能な京都観光の新しい様式について講演いただいた。第2部では、「観光教育の未来：教育、研究、実践の架け橋」と題し、北海道大学メディア・コミュニケーション研究院のエデルヘイム・ヨハン教授より、観光教育は誰のために、何のために必要であり価値があるのかという問いかけから、環境問題等を念頭におき未来へ視点を向けた観光教育を提供していく必要性が提示された。また各部においては、産業界および国外大学の研究者や有識者にご登壇



いただき、パネルディスカッションも行われ有意義な討議の場となった。

このシンポジウムの録画動画は、和歌山大学公式YouTubeチャンネル(<https://www.youtube.com/@wakayamauniv>)で2023年9月末まで公開している。

2.2. 研究・教育サポート

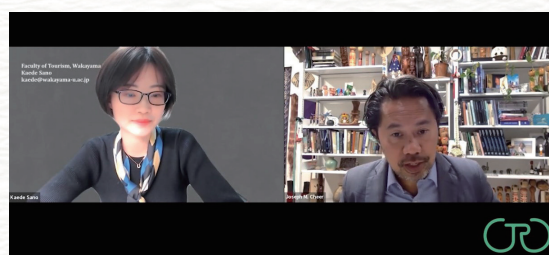
2.2.1. 研究力養成支援

●大学院生および若手研究者向けワークショップ実施

国内外の博士課程に在籍する学生および若手研究者向けに、学術研究における資料採集からデータ管理、論文投稿・出版に至るまでの実践的な情報や知見を講義形式で提供するワークショップを実施した。CTR専任研究員が講師として登壇、全3回のワークショップシリーズとして開催し、全3回に参加した視聴者に対し参加証明書(Certificate)を発行した。

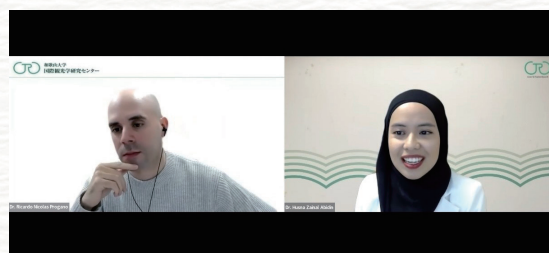
●Session 1 「Getting Published: A Practical Guide」

11月2日(水)にJoseph Cheer特任教授が担当。国際学術誌「Tourism Geographie」の共同編集長を務める経験から、論文投稿の投稿ジャーナルの選択から投稿、査読プロセスにおける注意点等実践的な情報を提供した。



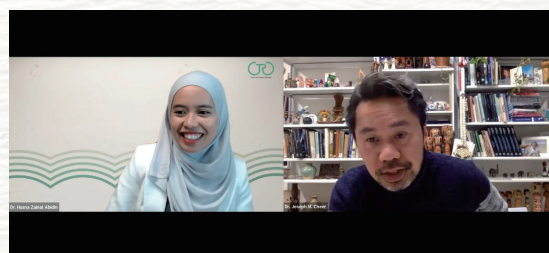
●Session 2 「An introduction to doing fieldwork in tourism」

12月7日(水)にRicardo Nicolas Prozano特任講師が担当。Prozano講師自身の研究フィールドワークの実例を挙げ、フィールドワークのフレームワークを基に留意点や可能性について話題提供した。



●Session 3 「Digital Tools to improve Research: Managing information, synthesizing literature, and writing academic papers」

1月25日(水)にHusna Zainal Abidin特任講師が担当。研究や論文執筆の過程においてデジタルツールを用いることの利便性や自身のアイデアの整理や効率化について、Zainal Abidin講師が実際に利用しているツールを提示しながら情報提供した。



2.2.2. 研究員主体のセミナー等イベント開催支援

●オンラインセミナー「Kumano Kodo & Santiago de Compostela pilgrimage sites: Tourism development and future challenges」

CTR専任研究員のRicardo Nicolas Progano特任講師によるコーディネートで、スペイン・サンディエゴコンポステーラ大学のXose M. Santos教授およびCTR研究員の柴本 百合香特任助教(観光実践教育サポートオフィス)を講師に迎え、10月25日(火)にウェビナーを開催した。姉妹道提携を結ぶ熊野古道とサンティアゴ巡礼道それぞれの歴史、巡礼道が観光振興に寄与してきた近年の開発やこれからの課題について講演された。



●オンラインセミナー

「Sacred sites, place attachment, and visitor values: A focus on Japan」

CTR専任研究員のRicardo Nicolas Progano特任講師によるコーディネートで、CTR客員フェローのJanuschka Schmidt氏(フローニンゲン大学、オランダ)を講師に迎え、10月26日(水)にウェビナーを開催した。日本の神仏信仰による寺社仏閣や巡礼道などいわゆる聖地への観光について、文化や場所・訪問者の相互関係やそれぞれの研究地である熊野古道や清水寺、伏見稲荷大社の事例を基に発表され、その後のパネルディスカッションでは、Husna Zainal Abidin特任講師、Joseph Cheer特任教授も加わり活発な議論が行われた。



●豪日交流基金助成金プロジェクト

オーストラリア外務貿易省内に設置されている豪日交流基金(Australia-Japan Foundation)が実施する助成金プログラムに、ジョセフ・チア特任教授のプロジェクト「Building Rural Tourism Resilience: Benchmarking Approaches from Japan and Australia」が採択され、同プロジェクトによるシンポジウムが11月15日(火)に和歌山大学で開催された。オーストラリアと日本、それぞれで研究に従事する共同研究者6名を講師にお招きし、両国におけるルーラルツーリズム、地域観光の現状や課題について研究発表および議論を行った。その後、プロジェクトメンバーは和歌山県内および京都府内の観光地を視察した。このプロジェクト実施成果としてジャーナル特集号出版も検討されている。なお、このシンポジウムの録画動画は、和歌山大学公式YouTubeチャンネル(<https://www.youtube.com/@wakayamauniv>)で公開している。



●第5回日本国際観光映像祭

摂南大学、和歌山大学観光学部とともにCTRが実行委員会を構成し、CTR研究員の木川剛志教授が代表を務める日本国際観光映像祭がハイブリッドで開催された。5回目を迎えた本年は、国内部門132本、国際部門1,286本もの観光映像の応募があり、コンテストの表彰や講演等の多彩なプログラムは、滋賀県大津市堅田の琵琶湖湖畔を会場に国内外へライブ配信もされた。SDGsや地域の観光資源、デジタルマーケティングの展開等についてもパネル討論のセッションで議論が交わされた。



2.2.3. 観光学部等授業科目の開講支援

CTR専任研究員2名が、観光学部及び観光学研究科の一部科目(観光学部科目に関してはグローバル・プログラム(GP)対象科目)の開講を支援した。2022年度開講科目は下記の通り。

観光学部科目名	担当者
Community Based Tourism	Husan Zainal Abidin

観光学研究科科目名	担当者
Tourism and Heritage Management (M)	Ricardo Nicolas Prozano

2.3. 広報、アウトリーチ、アドボカシー

2.3.1. 学会スポンサー参加

●APTA Annual Conference 2023

7月6日(水)から8日(金)にわたって大韓民国・済州島にて、Asia Pacific Tourism Association (APTA) の年次大会が開催された。APTAは1995年に創設された国際学会で、有力学術雑誌Asia Pacific Journal of Tourism Researchを発行する等、アジア太平洋地域で最も活発な観光研究の国際学会の1つと言える。本大会はコロナ禍の影響により対面とオンラインのハイブリット形式で実施された。本学はコロナ禍以前よりスポンサーとしてAPTAの年次大会に協賛しており、ウェブサイトのほか学会プログラムに広告が掲載された。

●サービス学会第11回国内大会

3月8日(水)から10日(金)にわたって京都大学吉田キャンパスで「サービス学会第11回国内大会」が開催された。サービス学会は、2012年にサービスに関する広範な知識を体系化し、様々な産業課題の解決に寄与することを目的として設立された国内学会であり、学术界のみならず多くの企業が参加している。本大会において当センターは協賛として参加したほか、CTR研究員である佐野 楓准教授を中心にオーガナイズドセッションを実施した。招待講演として、オーストラリア・Kマーケティング株式会社の松本 清志氏がオンラインで登壇し、一般社団法人 南紀白浜観光協会の山下 滋己氏・藤田 正夫氏、CTR客員フェローの齋藤 望教授(富山福祉短期大学)からも発表が行われた。



2.3.2. 外部機関との連携促進

●UNWTO Affiliate Members Corner 参加

UNWTO賛助会員部が実施する賛助会員向けのセミナー「UNWTO Affiliate Members Corner (AM Corner)」が、9月23日(金・祝)に東京ビッグサイトで行われたツーリズムEXPOジャパン内で開催された。当セミナーは、「Sustainability and Digitalization in Tourism Product Development」のテーマを掲げ、UNWTO賛助会員部長から賛助会員制度の意義等について説明があった他、賛助会員である5機関による発表が行われた。和歌山大学からはCTR研究員でもある中元 一恵国際交流課長が、本学および当センターにおける教育や学生を通じた観光への取組について発表がなされた。その後、参加した賛助会員同士でのネットワーキングの機会となった。



2.3.3. メディア出演

●Nikkei Asiaへのコメント提供

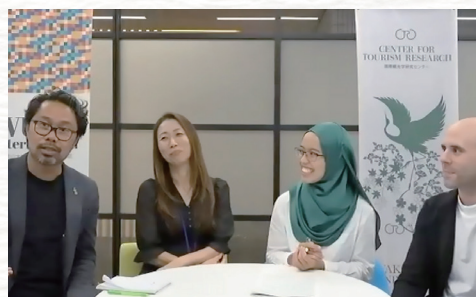
CTR専任研究員、Joseph Cheer特任教授がNikkei Asiaの取材を受け、新型コロナウイルスで打撃を受けた日本のインバウンド観光の再開について、地方へのインバウンド観光の重要性や見解について述べた。

「Japan tourism after COVID: Industry aims for more sustainable boom」(2022年7月19日, Nikkei Asia) <https://asia.nikkei.com/Spotlight/Asia-Insight/Japan-tourism-after-COVID-Industry-aims-for-more-sustainable-boom>

2.3.4. イベント開催協力

●日本学研究教育センター主催Summer Program2022協力

8月1日(月)から5日(金)に開催された本学日本学教育研究センター (CJS) 主催のSummer Program2022において、CTR専任研究員のJoseph Cheer特任教授およびRicardo Nicolas Prozano特任講師が講師として、Husna Zainal Abidin特任講師がファシリテーターとして参加協力した。本プログラムは、和歌山大学協定大学の学生を対象に本学への留学を促す目的で実施され、CTR専任研究員からは日本および和歌山の観光について講演した。また研究員が感じた日本の印象や個人の経験を座談会形式で話され、学生からの質疑応答も活発に行われた。



2.3.5. 学会、イベント参加

CTRスタッフが出席したイベントは以下の通り。なお、CTR研究員が招待講演や研究発表で参加した主な学会およびイベントは、CTRウェブサイト内、お知らせ記事を参照。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news-category/notice/>

日程	イベント名	主催
7月6日～8日	Asia Pacific Tourism Association Annual Conference 2022 スポンサー参加・出席 (オンライン)	Asia Pacific Tourism Association (APTA)
7月15日	観光庁「第21回UNWTO活用検討会」出席 (オンライン)	観光庁
9月22日～23日	ツーリズムEXPO ジャパン参加 「UNWTO Affiliate Members Corner」出席 (東京ビックサイト)	公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)、日本政府観光局 (JNTO)
9月28日～29日	第4回日本・ウズベキスタン学長会議」出席 (筑波大学)	筑波大学、ウズベキスタン共和国高等中等専門教育省、駐日ウズベキスタン共和国大使館
12月13日	「7th UNWTO World Forum on Gastronomy Tourism」出席 (奈良コンベンションセンター)	UNWTO (国連世界観光機関)、BCC (バスクカリナリーセンター)
3月8日～10日	「サービス学会第11回国内大会」協賛参加・出席 (京都大学)	サービス学会

2.3.6. 運営・企画イベント一覧

開催日	イベント名称 / 講師等	ポスター
10/25(火)	<p>ウェビナー「Kumano Kodo & Santiago de Compostela pilgrimage sites: Tourism development and future challenges」</p> <p>スピーカー： Ricardo Nicolas Progano (和歌山大学 国際観光学研究センター特任講師) Xose M. Santos (サンティエゴ・コンポステーラ大学 教授) 柴本 百合香 (和歌山大学 観光学部観光実践教育サポートオフィス特任助教)</p>	
10/26(水)	<p>ウェビナー「Sacred sites, place attachment, and visitor values: A focus on Japan」</p> <p>スピーカー： Januschka Schmidt (フローニンゲン大学 PhD researcher / 和歌山大学 国際観光学研究センター客員フェロー) Ricardo Nicolas Progano (和歌山大学 国際観光学研究センター特任講師)</p>	
11/2(水)	<p>CTR workshop series for students and young researchers Session1 「Getting Published: A Practical Guide」</p> <p>スピーカー： Joseph M. Cheer (和歌山大学 国際観光学研究センター特任教授) モデレーター： 佐野 楓 (和歌山大学 観光学部准教授 / CTR研究員)</p>	
12/7(水)	<p>CTR workshop series for students and young researchers Session2 「An introduction to doing fieldwork in tourism」</p> <p>スピーカー： Ricardo Nicolas Progano (和歌山大学 国際観光学研究センター特任講師) モデレーター： Husna Zainal Abidin (和歌山大学 国際観光学研究センター特任講師)</p>	

開催日	イベント名称 / 講師等	ポスター
11/15(火)	<p>シンポジウム「Building Rural Tourism Resilience: Benchmarking Approaches from Japan and Australia」</p> <p>スピーカー： Professor Carolin Funck (Hiroshima University, Japan) Associate Professor Eiji Ito (Chukyo University, Japan) Associate Professor Susanne Klien (Hokkaido University, Japan) Professor Keir Reeves (Federation University Australia) Associate Professor Anne Hardy (University of Tasmania, Australia) Associate Professor Michael Volgger (Curtin University, Australia)</p> <p>モデレーター： Associate Professor Tamara Young (University of Newcastle, Australia) Professor Joseph M. Cheer (Wakayama University, Japan)</p>	
1/17(火)	<p>CTR International Symposium Series 2022-2023「The Future of Tourism Education and Destination Management」</p> <p>Part1「The Future of Destination Management」 スピーカー： 吉岡 久美子(京都市産業観光局観光MICE推進室 観光戦略課長) ジョイス・マリアン・マグシーノ (UNWTO駐日事務所 国際課長) 東野 祥策(関西観光本部 総合企画室室長) 八島 雄士(和歌山大学 観光学部教授) モデレーター： 佐野 楓(和歌山大学 観光学部准教授)</p> <p>Part2「The Future of Tourism Education: Bridging Teaching, Research and Practice」 スピーカー： エテルヘイム・ヨハン(北海道大学メディア・コミュニケーション研究院 教授) Prof. Hiram Ting (UCSI University, Malaysia) Prof. Honggen Xiao (The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong) Prof. Simon Pawson (Torrens University, Australia) モデレーター： ジョセフ・チア (和歌山大学 国際観光学研究センター 特任教授)</p>	

開催日	イベント名称 / 講師等	ポスター
1/19(木)	<p>公開セミナー「Applied spatial econometrics in tourism and hospitality research」</p> <hr/> <p>スピーカー： Associate Prof. Seul Ki Lee (Tourism Industry Data Analytics Lab, Department of Hotel and Tourism Management, Sejong University, Korea)</p>	
1/25(水)	<p>CTR workshop series for students and young researchers Session3「Digital Tools to improve Research: Managing information, synthesizing literature, and writing academic papers」</p> <hr/> <p>スピーカー： Husna Zainal Abidin (和歌山大学 国際観光学研究センター特任講師) モデレーター： Joseph M. Cheer (和歌山大学 国際観光学研究センター特任教授)</p>	
3/14(火)～16(木)	<p>「第5回 日本国際観光映像祭」</p> <hr/> <p>スピーカー： 木川 剛志 (日本国際観光映像祭ディレクター/和歌山大学 観光学部教授) 加嶋 章博 (日本国際観光映像祭 審査委員長/摂南大学 理工学部教授) 相原 正明 (フォトグラファー) 山下 久美子 (旅愛好家) 宮田 耕輔 (月刊ウララ編集長) 他</p>	

CENTRE FOR TOURISM RESEARCH

R
SM
RCH

**【発行】 和歌山大学国際観光学研究センター
〒640-8510 和歌山市栄谷930
TEL.073-457-7025
<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>**

【発行日】 2023年8月



Wakayama University
Center for Tourism Research

2022年度 年次報告書
和歌山大学 国際観光学研究センター